

会 員 各 位

公益社団法人全国老人保健施設協会  
会 長 東 憲太郎  
(公印省略)

研修委員会  
委員長 浅井 八多美

リハマネ加算Ⅱの  
取得率が高い施設  
は何が違う？

## 全老健 研修会のご案内

### 全職種対象

## 平成 29 年度通所リハビリテーション研修会開催！

平素より当会の業務・運営に特段のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本研修会は、老健施設職員に対し老健施設における通所リハビリテーションの役割や連携等について理解を深めることを目的としております。

平成 27 年度介護報酬改定では、「リハビリの管理」を強化・充実するという目的でリハビリテーションマネジメント（Ⅱ）（以下、リハマネ加算Ⅱ）が新設されましたが、まだまだ当該加算を算定出来ていない施設が多いのが現状です。

漫然としたリハビリの継続となっていないかという点は、次期改定でも重要論点になっており、当該加算を算定できる体制作りをしておくことは非常に重要です。

そこで今回は、リハマネ加算Ⅱ取得率**90%以上**の施設の方々をお招きし、どのような工夫をしているのか等のシンポジウムを行います。リハマネ加算Ⅱを取得したいが上手くいかない施設や、これから本格的に算定を考えている施設の方々**は必見の研修会**です。

また、次期改定が迫っていることから、厚労省の方から、通所リハビリに何が求められているのか、といったことについてもお話し頂く予定です。皆様のご参加をお待ちいたしております。

日 程	平成 29 年 11 月 19 日(日)
会 場	品川フロントビル会議室(HPアドレス : <a href="http://www.front-c.jp/access/">http://www.front-c.jp/access/</a> ) 〒108-0075 東京都港区港南 2-3-13 TEL: 03-5463-9957
定員/対象	250 名(定員となり次第締切)/老健職員等
参加費用	会員価格:10,800 円 非会員価格:12,960 円 (資料代・消費税込)
受講証書の発行	全課程受講された方に交付いたします。なお、遅刻・早退等により全課程を受講されなかった場合には交付はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
申込方法	全老健研修申込サイト <a href="http://training.zenroken.net/">http://training.zenroken.net/</a> からインターネット上でお申込みください。FAXでの申込みは、上記サイトから申込書をダウンロードし、 <b>名鉄観光サービス株式会社</b> にお送りください。
参加券	研修会開催の約 7 日～10 日前に <b>名鉄観光サービス株式会社</b> よりご郵送いたします。
申込み上の注意	研修申込みサイトにてお申し込みの場合、「申込完了」画面が表示されるまでは申込み途中ですので、必ず最後までお進みください。申し込みが出来ているかは、サイト内の「申込み・登録状況確認」からご確認いただけます。 FAXにてお申し込みの場合、原則 3 営業日以内にお申込書下部の旅行会社記入欄にチェックを入れて返信いたします。返信がない場合、申し込みが出来ていない可能性がございますので、 <b>名鉄観光サービス株式会社</b> までご確認ください。 ※申込みが確認できない場合、速やかに <b>全老健</b> 若しくは <b>名鉄観光サービス株式会社</b> までご連絡ください。申し込みが出来ておらず研修会に参加できない場合、それに伴う一切の責任・損害は負いかねますので、ご了承ください。
その他	講義中の会場内への付添いは原則お断りしております。やむを得ない事情により、講義中に受講者ご本人以外の方が会場内に来場される場合には、必ず事前に下記 <b>全老健事務局</b> 担当宛にご連絡くださいますようお願い申し上げます。 カリキュラムの詳細は予告無く、変更することがありますのでご了承ください。
問合わせ先	公益社団法人全国老人保健施設協会 業務部業務第一課 TEL:03-3432-4165

# 平成 29 年度通所リハビリテーション研修会

リハマネ加算Ⅱを  
取得したい施設必見

本研修会は、老健施設職員に対し老健施設における通所リハビリテーションの役割や連携等について理解を深めることを目的としております。

今年度は、リハマネ加算Ⅱの取得を標準化している施設がどのような工夫をしているのか、といった点をメインに取り上げます。平成 27 年度介護報酬改定では、「リハビリの管理」を強化・充実するという目的でリハマネ加算Ⅱが新設されましたが、当会の調査でも、国が行う調査でも、まだまだ当該加算を算定出来ていない施設が多いという結果が得られています。

漫然としたリハビリの継続となっていないかという点は、次期改定でも重要論点になっており、当該加算を算定できる体制作りをしておくことは非常に重要です。

今回のシンポジウムでは、リハマネ加算Ⅱ取得率 **90%以上**の施設の方々をお招きし、どのような工夫をしているのか等をお話し頂きます。リハマネ加算Ⅱを取得したいが上手くいかない施設や、これから本格的に算定を考えている施設の方々には必見の研修会です。

また、次期改定が迫っていることから、通所リハビリに何が求められているのか、といったことについてもお話し頂く予定です。皆様のご参加をお待ちいたしております。

時間	研修テーマ	講師
9:10	受付	
9:40	オリエンテーション	
9:45	開講式	全老健
9:50 10:50	平成 30 年同時改定と通所リハビリテーションに求められる変化	厚生労働省 老健局 老人保健課 課長補佐 坂野 元彦
休憩		
11:00 12:00	同時改定後に求められる通所リハビリの機能	全老健 副会長 折茂 賢一郎
休憩		
13:00 14:00	<b>【シンポジウム】</b> 30 年改定でリハマネⅡが標準となる…か??! 益々求められる多職種協働による通所リハ リハマネ加算Ⅱ取得率 90%以上の施設に学ぶ 既にⅡが標準化されている施設は多職種でどう動いているのか? ①当事業所のリハマネⅡの運用の工夫と多職種協働 -清雅苑の場合- ②当事業所のリハマネⅡの運用の工夫と多職種協働 -いこいの森の場合-	座長：全老健 研修委員会 委員 野尻 晋一 ①通所リハセンター清雅苑 理学療法士 真栄城 一郎 ②介護老人保健施設いこいの森 支援相談員 工藤 美穂 ③介護老人保健施設せんだんの丘 施設長・作業療法士 土井 勝幸
休憩		
14:10 15:10	③当事業所のリハマネⅡの運用の工夫と多職種協働 -せんだんの丘の場合- ④当事業所のリハマネⅡの運用の工夫と多職種協働 -ぺあれんの場合-	④介護老人保健施設ぺあれんと 作業療法士 宮内 順子
休憩		
15:20 16:30	ディスカッション	
16:30	閉講式	全老健